

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	16人	2人		20人

前回の改善計画	伝達ノートの細分化は、一定の効果があると思われるので継続して取り組んでいく。その中で、既読漏れを防止するために閲覧チェックの仕方や重要な点に赤線をつけるなどの工夫を行う事で、内容の忘れを防ぎ情報の共有がより行えるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	伝達ノートの細分化は一定の効果が見られたため、今後も継続して行っていく。既読漏れなどの防止については、赤線をつけて内容の把握に繋がられた部分もあったが、まだまだ職員全員が周知するには不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1人	18人	1人		20人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	人	19人	1人		20人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	5人	13人	2人		20人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	17人	2人		20人

できている点	- 伝達ノートを活用する事で情報の共有は出来ている。 - 入所後、1週間程度でカンファレンスを開催する事で現在の本人の状態を職員間で把握する事が出来ている。
--------	--

できていない点	- 伝達ノートへの必要な情報の気球漏れがある。また、伝達ノートに書いても継続されなかったり、意味が分かりにくい場合がある。 - 本人とのコミュニケーションは比較的取りやすいが、家族とは会う機会自体が少ないので望んでいる支援を把握しにくい事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	伝達ノートの活用は充分出来ているが、せっかく伝達ノートに書いた事も内容を忘れたり、一定期間過ぎてしまったものに対して忘れてしまう事が起きている。重要事項に赤線をつけるなどの工夫に加え、最重要は◎、重要は○など、印をつけて伝達事項の周知徹底に努めていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月5日（月）14:00～16:00

2. 「～したい」の実現
（自己実現の尊重）

メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	16人	4人		20人

前回の改善計画	各利用者の担当職員がケアプランの把握をしっかりとする事で、目標を理解しより良いケアを行うことができるので、利用者とのコミュニケーションを取りながら、必要なサービスを理解し他職員に伝達していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	まず基本的なところで、ケアプランが何か、どこにケアプランが書いてあるかから職員が周知出来ていないことがわかった。日頃のケアはしっかりと行っているが、その支援がケアプランに沿ったものになっていたかは疑問である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	人	15人	5人	人	20人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	人	12人	8人	人	20人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	人	10人	10人	人	20人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	人	18人	2人	人	20人

できている点	- ケアプランに沿ったケアが出来ている。 - ミーティングやカンファレンスで話し合うことができている。
--------	--

できていない点	- 利用者とコミュニケーションをとる時間を作る事が難しい。 - ケアプランの意味とどこにケアプランが書かれているか理解できていない職員が多数いる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	まず最初に各担当職員が自分の担当利用者のケアプランをしっかりと把握し、自ら利用者とコミュニケーションを取りながら率先してケアを行っていく事で、プランに沿った内容のケアを他職員も理解し実践していけるように努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
3. 日常生活の支援	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	18人	2人	人	20人
前回の改善計画		・今後は「私の姿と気持ちシート」の活用は行わず、利用者やご家族とのコミュニケーションの中で得た貴重な情報を基に、担当職員が中心となってカンファレンスやミーティングなどの場で情報を共有していく事でサービスの向上に務める。				
前回の改善計画に対する取組み結果		・「私の姿と気持ちシート」の活用を中止したことで利用者の生活歴などの情報は以前に比べて減ってきたが、担当職員とケアマネが中心となってカンファレンスを行う事で、現在必要なサービスに対する情報は得ることができている。				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	人	14人	4人	2人	20人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3人	14人	3人		20人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	人	15人	5人		20人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2人	17人	1人		20人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	2人	14人	4人		20人

できている点	・担当職員が中心となってカンファレンスが出来ている。 ・ミーティングなどで話し合った情報を職員間で共有する事で、本人にあった支援が出来ている。
--------	--

できていない点	・本人の今までの生活歴などについて話し合いが出来ていない。 ・本人の声に出せない訴えを言語化できていない。支援に繋がられていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・利用者との何気ないコミュニケーションの中や入浴など個別支援の中で得られた貴重な情報を、担当職員に伝達したりカンファレンスやミーティングに参加した際に報告する事により、職員間での周知、またはサービス向上に繋がっていききたい。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	10人	8人	2人		20人

前回の改善計画	・感染対策を引き続き行いながら、利用者が施設の中だけでの生活にならないよう、地域のイベントなどに積極的に参加したり、個別支援での外出に取り組むことで利用者の充実した生活支援に繋げていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・感染対策を行いながら、自治会の夏祭りや施設外行事（花見や海響館）などにも積極的に行くことができた。個別支援に関しては、寒い時期や家族の希望などで行えなかった利用者もいる中、殆どの利用者が行く事が出来て充実していたと思う。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3人	11人	6人		20人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4人	14人	2人		20人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	14人	6人		20人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	14人	5人	1人	20人

できている点	・個別の外出支援や施設の外出行事は出来ていた。 ・散髪や訪問歯科など、施設で生活する中で必要な外部の資源は適宜、活用している。
--------	--

できていない点	・地域イベントへの参加が限られた利用者になってしまっている。 ・個別の外出支援が全員は出来ていない。 ・本人のこれまでの生活歴など、個人の深堀が出来ていないのでその人にとって必要なケアを共有できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・引き続き感染対策に取り組みながら、個別支援や施設外行事・地域イベントへの参加を強化していきたい。 - 施設で暮らしている閉塞感を打破し、地域との関りをもっと深めることで日々を楽しく暮らせるように提供していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	5人	15人	人		20人

前回の改善計画	・利用者の思いに配慮したケアを志しながら、施設として「通い」や「入浴」などの柔軟な支援を行う。また、外部（保育園児の慰問や訪問歯科、散髪、ボランティア）などを積極的に活用する事で地域社会との繋がりを強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「通い」や「入浴」などの支援は、利用者の意思を尊重したり、体調を見ながら柔軟に対応する事が出来た。ただ、保育園児の慰問は叶わなかったが、施設前まで自治会の子供たちのお神輿に来ていただいたり、従来活用している訪問歯科等の外部資源は今まで通り活用することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4人	14人	2人		20人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5人	14人	1人		20人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6人	13人	1人		20人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	16人	2人		20人

できている点	・利用者の体調等の状態に合わせて入浴や通いを柔軟に支援している。 ・ボランティアや地域へのイベント参加は出来ていた。
--------	---

できていない点	・利用者の状態の変化を共有できていない事がる。 ・通いを希望しない利用者への対応（声掛けの方法や、そもそも本人が希望しないのに必要なのか）が難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・利用者の体調に考慮した「通い」を継続しつつ、その人にとって「通い」が必要なのか必要でないのかを判断し、「通い」の回数を調整していく事で、利用者にとって暮らしやすい施設を目指す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
6. 連携・協働	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	15人	3人	1人	20人

前回の改善計画	地域のイベントに積極的に参加したり、保育園児の慰問や施設内見学の開催を行う事で施設に地域の方を招待したり、感染対策を引き続き行いながら地域の中心としての役割が果たせる施設を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「夏祭り」などの地域イベントに参加する事は出来たが、偏った利用者になってしまう傾向にあった。施設内見学は今回で2回目だったが、参加者はゼロであり、企画や開催方法の見直しが必要と感じた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3人	15人	1人	1人	20人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	12人	6人	1人	20人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	14人	3人	1人	20人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	5人	10人	4人	20人

できている点	- 運営推進会議の開催や施設見学の実施を行うことができた。 - 夏祭りなど地域イベントへの参加が出来た。
--------	---

できていない点	- 施設見学を企画したが、参加者がゼロだった。 - 入所されている利用者の関係者以外、施設を訪れる方がほとんどいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	施設内見学の案内地域を横野地区に限定せず、安岡支所や職員が居住している地域まで範囲を広げてパンフレットの配布など行い、次の開催時には実りのある施設内見学が行えるよう企画していきたい。
---------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	14人	3人	人	20人

前回の改善計画	・運営推進会議やご家族からの貴重な情報や意見を参考に、職員間で話し合いながら利用者が安心・安全な生活ができる支援を行っていくと共に、地域の中の施設として多種多様な地域との関りを持つていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議などで参加された民生員や自治会長、市や包括の方々から多様な近況や情報を得ることが出来ている。ただ、地域の中の施設としての認知度がどの程度あるのか推測できないが、一般の方の来客を増やして地域との関りを深く持てるようになっていきたい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2人	14人	4人	人	20人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	16人	2人	人	20人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	10人	5人	3人	20人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2人	11人	4人	3人	20人

できている点	・地域活動として海岸清掃などに参加している。 ・ミーティングなどで利用者や家族からの訴えや要望を話し合い、職員同士で意見交換が出来ている。
--------	--

できていない点	・ミーティングなどで意見の言いやすい環境は出来ていると思うが、意見を言う人と言わない人の差がある。 ・地域でのイベントに参加するのみで、協働という意味でのお手伝いなどは出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・地域との関りの中で、地域イベントに参加することは出来ているが、協働という点で一緒に何かをする事は海岸清掃ぐらいであり、より地域活動において協働できる場を作っていきたい。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月5日（月）14:00～16:00
------------------	-----	------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、中村、小俣、川本、坂本、今井
-----------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	18人	2人		20人

前回の改善計画	外部研修の参加を促していく事で、職員間の研修参加率の格差軽減に努め、外部研修に参加した職員が研修内容を他職員に伝達できる場を設けて、施設全体の質の向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修に参加する職員は増えてきているが、まだまだ職員の参加率格差は大きい。また、せっかく研修に参加しても持ち帰って職場内で伝達できていないのが現状であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	19人	人		20人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	15人	2人	1人	20人
③	地域連絡会に参加していますか	人	9人	9人	2人	20人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	15人	1人	1人	20人

できている点	- 施設内外の研修に参加できている。 - リスクマネジメント研修を行う事で、知識を学び現場で活かす事が出来ている。
--------	--

できていない点	- 外部研修に参加できなかった。また、参加した研修内容を他職員に伝達できていない。 - ヒヤリ・ハットや事故報告書の記入や閲覧はできているが、同じことが何度も繰り返される事が多く改善に至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	管理者が外部研修の参加を各職員に促し職場全体でスキルアップを図っていくと共に、持ち帰った内容を毎月のミーティングの場で、簡潔に伝達していく取り組みを行っていく。
---------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	18人	1人		20人

前回の改善計画	・職員全員が研修や勉強会への参加により認知症についての理解を深めつつ、実際により良いケアに繋がられるようにスキルアップしていく中で、職員間での指摘もわだかまりなく行える施設を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員の勉強会への参加率は非常に高く、認知症についても毎年研修を行う事で理解を深めている。 ただ、職員間の指摘は、どうしてもその後の人間関係を考慮して指摘し合えない部分が多く見られる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7人	13人	人		20人
②	虐待は行われていない	7人	13人			20人
③	プライバシーが守られている	4人	15人	1人		20人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	11人	4人	2人	20人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	16人			20人

できている点	・認知症についての勉強会や研修に参加する事で、施設内での虐待や身体拘束は行われていない。 ・個人ファイルなどは適切な場所に保管する事でしっかりと管理できている。
--------	---

できていない点	・成年後見制度を活用していない。 ・職員間での指摘が出来ていない。トイレ介助時にドアを開けて行うなど、配慮が欠けている事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・トイレ介助などは、トイレの空間が狭いなどの施設環境の難しさがあるにせよ、もう一度職員一人ひとりが原点に立ち戻り、「自分がされて嫌なことは人にはしない」をモットーに、ドアは必ず閉めて介助を行うよう支援していく。
---------------	---